

委員会付託

- ・議案 **22** 件
- ・請願 **2** 件

分科会分担

- ・議案 **10** 件

教育民生常任委員会に付託を受けた議案および予算常任委員会教育民生分科会に分担された議案について審査した結果、主に下記内容が議論されました。

- ◆委員長／伊藤厚子
- ◆副委員長／山添和良
- ◆委員／西川英伸、山崎智之、荒川一義  
桂 撤男

猿田彦温泉いやしの湯

## 主な審議内容

### 【議案第1号】

#### 平成31年度七尾市一般会計予算

##### ◆高齢者いきいき入浴補助事業費について

- ①高齢者いきいき入浴補助事業費のことが、この助成券の利用率を教えてください。
- ②2月末の利用率は、18.7%となっている。最終的な利用率については、21%を見込んでいる。計画では、25%だったが、足りない。
- ③何か使い勝手が悪いという声が出ている。利用率が目標の25%、更にそれを超えていくような来年度に向けての工夫はあるのか。
- ④新年度については、その公衆浴場さんと連携しながら、その浴場の方で、例えば、100歳体操なり、介護予防教室をおこなうなど、少し、新たな事業をして、取り組んでいきたい。また、公衆浴場さんにおいても、利用者の拡大を目的とした、独自のイベント、取り組み等を考えていただきたい。

### 【議案第1号】

#### 平成31年度七尾市一般会計予算

##### ◆小学校教育振興総務費について

- ①小学校教育振興総務費の中で、新しく「通学路交通安全プログラム」における対策に係る経費82万7千円について、「車の減速をうたった立て看板があるといい」という話も聞かすが、ドライバーの減速を促すようなものを含めての予算措置なのか。
- ②今回のこの天神山、東湊、田鶴浜、中島、能登島の5校で小型注意看板を9枚、電柱標識3枚の設置は、電柱にしか看板がつけられないところや、大幅な路面表示ができない部分に、電柱標識などを設置する予算である。このように、通学路交通安全プログラムで学校から要望が上がってきた分については、しっかりと対応していきたい。



### 【議案第9号】

#### 平成31年度七尾市病院事業会計

##### ◆病院事業収益について

- ①前年の当初と比較して、収益の方が、入院も外来も、1日の平均患者数が減って、診療単価が増えているが、今後も、このような傾向が続くのか。
- ②人口減少に伴う患者数の減少というのはいり、外来患者数は、特に減ってきている。いい薬がいくつも出てきたため、入院も減ってきている。
- ③平均診療単価が上がってくるのは、今までの診療に比べ、レベルの高い診療が普及してきているということなのか。
- ④軽い患者さんは、なるべく、かかりつけ医にお願いをして、複雑な容態の方を中心に外来で見ているため、単価が上がっている。



能登総合病院

### 【議案第32号】

##### ◆七尾市手話言語条例について

- ①第7条「施策の推進」で「総合的かつ計画的」とあるが、事業計画を作るとか、個別に事業を予算化していくということなのか。
- ②現在も個別で福祉計画等を定めており、それに基づいて、予算付けをして、手話への取り組みをおこなっている。これからも引き続き、各事業で実施していきたい。
- ③手話通訳の窓口設置とは、決まったことなのか。
- ④現在、すでに平成30年4月から、健康福祉部福祉課の窓口到手話通訳者を設置しており、手話通訳の派遣についても、会議等で手話通訳士が出向いて、手話通訳をしており、これからも、この事業を続けていく。